

# 創る

## 鶏ふんリサイクルシステム

マエダ美化  
(伊豆の国市)

### しずおか企業群

◆商品紹介 鶏舎内に独自の菌体を混ぜたオガ粉を敷いて、鶏ふんをその場で堆肥化する仕組みを、豊栄物産(鹿兒島市)など5社と共同開発した。生ごみ堆肥化事業で養った水分調整や温度管理など菌体の分解機能を最大限発揮させる技術力を生かした。

■シ下の床にたまった鶏ふんからアンモニアや硫化水素が発生し、悪臭に悩まされてきたが、周辺住民から苦情がなくなり、従業員の作業環境の改善、ニワトリの採卵率向上などの効果も



前田忠男社長

従来の高床式の鶏舎はゲ



## 臭い抑えて良質堆肥に

ある。床にオガ粉を30〜40センチ、耕運機で週4回ほどかき混ぜる。菌体が鶏ふんを分解・減容化して臭いを抑え、リン酸やカリを蓄積した堆肥ができる。オガ粉は2年間使えて、鶏ふん搬出・処理費もかからず、堆肥は農作物栽培に利用できる。

◆需要・販路 3月から販売を開始し、西日本の大型高床式鶏舎を中心に6件で既に導入済み。今後は東海地方や関東地方の排卵系の鶏舎に働き掛けていく。前田忠男社長は「鶏ふんの悪臭に悩む養鶏業者は少なくないはず。商品の説明に行っても「あり得ない」と相手にされないことが多いが、信頼されるように、まずは実績を積み上げたい」と強調する。

◇会社概要 1992年創業。廃棄物収集運搬処理、有機性堆肥製造販売など、従業員30人。伊豆の国市四日町441-2。

◇まただ・たのお氏 創業時から社長。現在は伊豆の国市商工会で特産開発委員長も務める。同市出身。62歳。

## 政治経済